

グリーンコンシューマーの支持が得られる SS運営を推進していきます。

全国約5,500カ所、毎日多くのお客様が訪れるSSは、当グループの「顔」とも言える場所です。環境問題がクローズアップされている今、環境への配慮はもちろん、地域社会の一員として「社会との共生」を目指していくことは、これからのSS運営の必須条件です。当社は、環境保全型コスチュームやソーラーパネルの導入をはじめ、汚染防止や廃棄物削減のための様々な施策、「コスモ・ザ・カード エコ」^{*1}によるお客様と一体になった環境保全活動などにより、お客様から一層支持されるSSを目指していきます。

環境調和型SSを目指して

再生PET樹脂を50%以上使用した「環境保全型コスチューム」を開発し、2001年12月に石油業界では初めて、コスチュームの全アイテム(靴を除く)でエコマークの認定を受けました。2002年5月よりSSに導入されています。

またCO₂排出量を削減するために、NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)との共同研究として、2001年11月、10カ所のSSにソーラーパネルを導入しました。10カ所のSS合計で、年間約17万kWhの電力消費量、約63トンのCO₂排出量を削減できる見通しです。



エコマークの認定を受けた「環境保全型コスチューム」

汚染防止や廃棄物削減活動

SSは、市街地にも立地するため、近隣への環境汚染防止のために、従来から様々な対策を講じてきました。



油と水を分離して水質汚濁を防ぐ「油水分離槽」

水質汚濁を防止するために、すべてのSSに「油水分離槽」が設置されています。洗車や清掃時の排水など、廃油が混在する恐れがあるものは、すべて油水分離槽に集め、油と水を分離処理しています。

大気汚染防止のために、ガソリン荷卸し時の炭化水素ペーパー(ガソリンの蒸気)回収装置の設置拡大を図っています。

廃棄物削減のために、ウエス(布)やピン・カンなどは、自治体のルールに則って分別を徹底しています。廃タイヤなどはリサイクルされています。化学物質の容器は、「容器包装リサイクル法」に基づいた適切な処理を行っています。また「マニフェスト制度^{*2}」の対象となる廃棄物は、最終処理段階まで厳しくチェックしています。

安全対策への取り組み

SSでの事故防止・安全対策・環境問題への意識を高めるために、法規制への対応や設備などの安全・保守、防災・防犯管理、緊急時の対応、環境問題に関する取り組み、地域社会とのコミュニケーションなどを盛り込んだ「SS施設運用マニュアル」を作成し、すべてのSSに配布しました。SS経営のコンサルティングを行う当社社員である



消防庁と石油連盟によるポスター

SV(スーパーバイザー)は、このマニュアルに基づき、各SSを指導しています。

また、セルフSSにおける火災事故に対しても、静電気除去シートを設置するとともに、ポスターなどでお客様への注意を促しています。

*1 37ページを参照。

*2 マニフェスト(産業廃棄物管理票) 制度

1998年、全産業廃棄物の排出者に、最終処分まで確認することが義務づけられました。SSの廃棄物では、潤滑油などの廃油や金属くず、廃プラスチック、タイヤなどのゴム類、ガラス、酸性液、廃アルカリなどが対象となっています。